

令和4年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

【概況1】 社会福祉法人北海道家庭学校

I 組織体制について

1 役員

令和5年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	仁原正幹	理事	島田光隆
常務理事	清澤満	理事	浅利誠
理事	太田充子	理事	水上和俊
理事	軽部晴文	監事	平出寿
理事	関根春信	監事	海野功

2 評議員

河原英男	廣田洋子	大黒宏
吉野政明	佐々木雅昭	森田穰
森下一彦	小山和利	竹内克憲

佐藤京子氏、高藤和明氏の2名の勇退に伴う新たな評議員として、望の岡分校初代教頭（遠軽小学校・前校長）森田穰氏と望の岡分校・前分校長（遠軽中学校・前校長）竹内克憲氏の2名が就任した。

3 評議員選任・解任委員会委員

選任区分	氏名	選任区分	氏名
外部委員	吉川紘	事務局員	平井敬二
監事	平出寿	事務局員	楠哲雄
監事	海野功		

4 嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

役職名	氏名	役職名	氏名
嘱託医（内科）	瀧本玲子	苦情解決第三者委員	大河原忠宏
嘱託医（歯科）	東海林浩二	苦情解決第三者委員	熊谷憲子
顧問弁護士	村松法律事務所 村松弘康	事故防止対策委員	木村一則
		事故防止対策委員	浅利誠
特別顧問	家村昭矩	事故防止対策委員	新山史賢
学術顧問	服部朗	事故防止対策委員	吉村憲彦
樹下庵診療所医療顧問	太田充子	事故防止対策委員	清澤満
山林顧問	阿部理	学芸顧問	佐藤貞司
酪農顧問	大黒宏	学芸顧問	佐藤京子

家庭学校の顧問として、歴史資料の整理・展示・保管に関し専門的見地から助言していただく「学芸顧問」を新設し、北海道家庭学校図書館元館長の佐藤貞司氏と、元理事・元評議員で北海道家庭学校博物館元館長の佐藤京子氏の2名が就任した。

嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただいた。苦情解決第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告し、助言をいただいた。

○苦情解決第三者委員会・事故防止対策委員会の開催状況

合同会議 令和5年2月20日（月）開催

- ・家庭学校の現状について
- ・児童の意向を把握する仕組みについて
- ・事故の発生状況について

5 北海道家庭学校百年史編集委員会

(令和5年3月28日現在)

委員長	二井 仁 美	奈良女子大学研究院 教授
委員	大 泉 溥	日本福祉大学 名誉教授
〃	富 田 拓	網走刑務所 矯正医官 樹下庵診療所医療参事
〃	河 原 英 男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	森 田 穰	社会福祉法人北海道家庭学校 評議員
〃	阿久津美紀	目白大学 助教
〃	家 村 昭 矩	社会福祉法人北海道家庭学校 特別顧問
〃	佐 藤 京 子	社会福祉法人北海道家庭学校 学芸顧問
〃	仁 原 正 幹	社会福祉法人北海道家庭学校 理事長
〃	清 澤 満	社会福祉法人北海道家庭学校 常務理事 校長
〃	軽 部 晴 文	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
事務局	平 井 敬 二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部長
〃	楠 哲 雄	社会福祉法人北海道家庭学校 自立支援部長

○役職員・外部委員の数 45名

理 事	8名	監 事	2名
評議員	9名	嘱託医（内科 歯科）	2名
顧問弁護士	1名	特別顧問	1名
学術顧問	1名	樹下庵診療所医療顧問	1名
学芸顧問	2名	酪農顧問	1名
山林顧問	1名	事故防止対策委員	5名
苦情解決第三者委員	2名	百年史編集委員	11名

Ⅱ 理事会等について

1 理事会の開催状況

開 催 日	議 事 案 件
第1回 令和4年5月26日	・監査報告について ・評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第3次補正）について ・令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について ・評議員会の開催について ・社会福祉法人北海道家庭学校ハラスメント防止規程の制定について ・社会福祉法人北海道家庭学校就業規則の一部改正について ・社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の一部改正について ・学芸顧問の委嘱について
第2回 令和4年10月20日	・監査報告について ・人事について ・令和4年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第1次補正）について ・令和4年度社会福祉施設に係る指導監査について
第3回 令和5年1月26日	・監査報告について ・新年度執行体制について
第4回 令和5年3月21日	・監査報告について ・人事について ・令和4年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第2次補正）について ・令和5年度組織機構改正について ・令和5年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について

2 監事監査の実施状況

- ・令和4年 5月20日 令和3年度決算監査
- ・令和4年10月13日 定期監査
- ・令和5年 1月24日 定期監査
- ・令和5年 3月15日 定期監査

Ⅲ 評議員会について

1 評議員会の開催状況

開 催 日	議 事 案 件
第1回 令和4年6月14日	・令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について ・監査報告について

Ⅳ 諸規程の整備について

関係法制度等の動きや家庭学校の運営に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1 就業規則の一部改正

- ・文言と条項のずれの訂正とハラスメント条項を整理した。

Ⅴ 主要工事・新規購入物品等について

1 向陽寮浴室改修工事	2, 200, 000円
2 校内電話システム更新	3, 300, 000円
3 自立支援共有システム構築	2, 371, 600円
4 中古ディスクモア（牧草刈取機）購入	715, 000円
5 旧博物館修繕工事	594, 000円

【概況2】 児童自立支援施設「北海道家庭学校」

I 総括

1 暫定定員

令和4年度の暫定定員は、昨年同様に新型コロナの影響に伴う国の特例措置が施行されて、暫定定員数を29人とすることができました。

年度中に入所した児童は20名で、退所した児童は11名でした。令和5年3月の初日在籍数は24名で、年度末の在籍は19名でした。

2 個別的・専門的な対応の必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験を有するケース、発達障害を有するケースがともに約9割ありました。集団的な指導に加えて、個別的・専門的な対応が必須となっており、前年より実施回数及び人数が増加しました。令和4年度は、34名の児童に対して心理士による心理療法を110回、生活場面面接を120回実施しました。樹下庵診療所には、開院した107日間に198名の児童（うち家庭学校入所児童29名）が延べ1,517人受診しました。

3 分校と連携しての学習支援と自立支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校の望の岡分校による授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後、望の岡分校の学校日課の中で、家庭学校職員と望の岡分校教員の連携協力の下に作業班学習を行いました。また、多くの行事を共催で実施しました。

4 中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、家庭学校職員が児童の進路に応じたプログラムを用意して対応しました。

II 職員について

令和4年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。 (令和5年3月29日現在)

職 名	氏 名	職 務 内 容 ・ 事 務 分 掌
校 長	清 澤 満	総括
企 画 総 務 部 長	平 井 敬 二	企画総務部総括 法人本部事務・会計
職 業 指 導 員	夔 本 賢 治	主幹（酪農業務） 酪農班指導
事 務 員	栴 山 可 奈 子	施設事務・会計
栄 養 士	菅 原 希 望	栄養管理 給食献立作成 食材調達等管理 育児休業中
自 立 支 援 部 長	楠 哲 雄	自立支援部総括
児童自立支援専門員	竹 中 大 幸	主幹（本館業務・作業指導） 中卒クラス担当 校内管理班指導
〃	藤 原 浩	掬泉寮長 園芸班指導
〃	木 元 勤	本館職員 中卒クラス担当 校内管理班指導
〃	佐 藤 高 志	本館職員 中卒クラス担当 蔬菜班指導
〃	平 野 伸 吾	楽山寮長 園芸班指導
〃	大 里 真 子	本館職員 校内管理班指導 給食調理
〃	藤 田 杏	本館職員 蔬菜班指導
児 童 生 活 支 援 員	夔 本 広 美	主任（酪農業務） 酪農班指導 給食調理
〃	藤 原 美 香	掬泉寮母 給食調理
〃	稲 田 翔 平	本館職員 蔬菜班指導
〃	藤 田 郁 実	石上館副寮長 山林班指導
児 童 生 活 指 導 員	西 村 健 太 郎	主幹（寮運営業務・作業指導） 石上館寮長 山林班指導
〃	平 野 み ほ ろ	楽山寮母 蔬菜班指導
〃	小 長 谷 健 太 郎	本館職員 酪農班指導
〃	井 坂 鼓 地	本館職員 蔬菜班指導
主 任 心 理 士	姜 京 任	主幹（心理担当）
医 療 参 事	富 田 拓	樹下庵診療所医師
嘱 託	田 保 ル ミ 子	樹下庵診療所受付・会計
〃	西 村 由 香	給食調理
〃	中 津 川 静	給食調理
〃	歳 永 俊 江	給食調理
〃	戸 松 恵 子	石上館給食調理
〃	栄 和 子	非常勤講師（中卒クラス担当）

○職員数

北海道家庭学校 29名

令和5年3月28日現在

(内 訳)	校 長	1名
	事務職	2名
	栄養士	1名
	児童自立支援専門員	8名
	児童生活支援員	4名
	児童生活指導員	4名
	心理士	1名
	職業指導員	1名
	医 師	1名
	嘱託職員	6名
	(診療所受付・事務	1名)
	(調理員	3名)
	(非常勤講師	1名)

Ⅲ 児童の現況及び業務の推進状況について

1 入所児童

(1) 令和4年度における児童の入退所状況(初日在籍人数及び各月の入退所数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初 日 在籍数	10	11	13	15	16	16	16	17	18	20	21	24	197 月平均 16.4
入所数	2	2	2	2	1		2	1	2	1	3	2	20
退所数	1			1	1		1					7	11

(2) 令和4年度における退所児童の進路等の状況

進 路 先		人数	進 路 先	人数
家庭復帰	復 学	4	他の児童福祉施設への措置変更	0
	進 学	7	不結果(児相に再判定依頼)	0
	就 職	0	その他	0
	その他	0		
直接就職		0	計	11

(3) 児童相談所別入退所の状況

区分	中央	旭川	帯広	釧路	函館	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	計
入所	3	8	4			1	1	2	1	20
退所	1	2	5			2		1		11

2 寮運営

令和4年度は2寮（石上館・掬泉寮）から始め、10月より楽山寮を開寮し3寮で運営しました。

3 作業班学習

月曜・火曜・木曜日の午後、蔬菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の5班に分かれ、作業班学習を行いました。11月16日開催の作業班学習発表会において、児童全員が活動内容について発表しました。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	蔬菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営 苗仮植	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	オリエンテーション 学校周辺 除伐、間伐作業 礼拝堂付近の小径木伐採、枝払い等 神社山スキーリフトの撤去作業	スノーポール撤去 側溝砂利上げ 楽山寮温床・部材確認 神社山ハウス移設 スキーリフト撤去	牛舎清掃 電牧線張 給餌
5月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種 花壇の畑作り 関係者にプランター配布	椎茸ホダ木再設置 学校周辺 除伐、間伐作業 礼拝堂参道の枯損木及び小径木伐採、枝払い等 刈払い機器安全講習 山菜採り・椎茸採取（給食棟へ） 国沢林、桜周辺の下草刈り	楽山寮温床・掘削、部材加工 環境整備 カラマツ植樹	牛舎清掃 電牧線張 給餌 牛舎周辺刈払 雑木処理
6月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 大花壇の畑作り	国沢林、桜周辺の下草刈り 山菜採り（給食棟へ） 全校作業（グラウンド法面草刈り作業） 学校周辺 除伐、間伐作業 柏葉寮裏畑の日照支障木伐採作業 校内道路脇の支障木伐採、枝払い等 展示林 下刈り作業 路肩草刈り・林地内笹刈り、林地内雑木処理ほか	楽山寮温床・部材加工 味噌小屋周辺環境整備 環境整備	牛舎周辺刈払 環境整備
7月	牧草収納応援 移殖	花の苗定植 花壇の除草	展示林 下刈り作業 路肩草刈り・林地内笹刈り、林地内雑木処理ほか 寄付林 林道路肩下刈り作業 校舎裏 草刈り及び周辺雑木処理作	楽山寮温床・部材加工、解体 環境整備	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 放牧地雑草取り

8月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	業 国沢林、桜周辺の下草刈り 平和山 林道下草刈り作業	楽山療温床・防腐剤塗布、解体 環境整備 木工教室で解体・整理	牛舎清掃 牛舎周辺刈払
9月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	平和山林道、記念碑周辺下刈作業	楽山療温床・防腐剤塗布、部材加工 味噌小屋周辺環境整備	牛舎清掃 放牧地周辺刈払 放牧地整備
10月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作り 土作り 花壇の後片付け	平和山林道、寄付林草刈り作業 服部林、高田林標柱埋設作業 基幹林道整備作業 礼拝堂 町道延長路線 椎茸ホダ木撤去作業 全校植樹作業	楽山療温床・部材加工、組み立て 味噌天地返し、樽移し替え 味噌小屋掃除 味噌造り 発表会掲示板ペンキ塗り	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 収穫機械の清掃 採草地の土壌分析 雑木処理
11月	作 業 班 学 習 発 表 会				
12月	野菜の保存	土焼き	学校周辺 除伐、間伐作業 神社山スキーリフトの設置作業	スノーポール設置 クリスマスリース製作・設置	給餌 牛舎清掃
1月	除雪	山林班と合同で伐木	展示林周辺除伐、間伐作業 全校作業（ゲレンデ圧雪作業）	山林作業	給餌 牛舎清掃 乳製品製造 除雪
2月	山林作業 除雪	播種 育苗 除雪	全校作業（平和山滑走コース圧雪作業） 展示林周辺除伐、間伐作業	山林作業 除雪	乳製品製造 除雪
3月	山林作業 除雪	温床整備 播種 育苗	展示林周辺 除伐、間伐作業	山林作業 除雪	乳製品製造 除雪

4 事故等の状況

(1) 事故発生状況

怪我	3件	3名	・遊んでいて錆びたパイプで右手を切った。3針縫合 ・走行中の軽トラックの荷台から落下し頭部を打撲する。検査の結果異常はなかった。 ・スリップし横転した車両に同乗し、頭部、右肩打撲。検査の結果異常はなかった。
----	----	----	---

過去5年間の無断外出の発生状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	1	2	2	5	0
延べ人数	1	2	6	13	0

(2) 苦情の申し出状況

苦情受け付け箱（希望の声）を本館と給食棟の2カ所に設置し、児童の意見表明の機会を設けています。令和4年度の苦情受付は5件でした。

苦情内容及び希望	申出人	結果
給食棟で黙食が決まりなのに、職員は守っていない。	石上館 H 君	決まりを守るよう周知する。給食棟テーブルに黙食と掲示する。
夜も外で遊びたい。（キャッチボール等）	石上館 H 君	暗い時間にキャッチボールは認められない。基本的に暗くなってから外に出ることはしない。
クラブ活動のソフトボールを野球に変えたい。 用具も専用のものにしてもらいたい。	石上館 H 君	ソフトボールは難易度が低く全員がプレーし易いので選択している。 用具はソフトボールに適したものを使用している。
給食棟テーブルに花が枯れて汚れるので置かないでほしい。刈り取られて花がかわいそう。	石上館 H 君	散った花等は毎朝除去しているが、さらに注意をばらう。 殺風景な環境を改善するためと理解を求めた。
寮長から信用されていない。同寮生から暴言を言われる。 転寮したい。	掬泉寮 K 君	寮長は一方的に疑ってはいない。嘘をつくことがあったため、信用を失うと注意はした。同寮生は冗談でやっていたようだが、しないよう指導した。

(3) 一群アンケートの実施状況

月に1度、全ての児童を対象にアンケート調査を実施し、記載のあったものについては速やかに対応しました。

5 クラブ活動

令和4年度は、1年を通して土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。

前期は合気道とソフトボール、後期は合気道と室内球技でした。

合気道は新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した上で、ボランティアの吉野先生と松田先生のご指導のもとで活動しました。

6 年間行事等の状況

4月	6日：一学期始業式 11日：散髪奉仕 18日：歯科健診 21日：内科検診
5月	3～4日：校長杯（フットサル・ミニバレー・ソフトボール・キックベース） 7日：潮干狩り 11日：花見の会 20日：マラソン大会 30日：散髪奉仕
6月	12日：運動会
7月	1日：相撲大会 13日：釣り遠足 18日：散髪奉仕 27日：一学期終業式 29日：済美館清掃
8月	1日：慰霊祭 2～15日：夏季一時帰省 17日：二学期始業式
9月	5日：散髪奉仕 16日：マラソン大会 24日：創立記念日 28～30日：研修旅行
10月	3日：楽山了開寮 17日：園遊会 24日：散髪奉仕
11月	16日：作業班学習発表会 21～24日：望みの岡分校学校閉鎖（コロナ感染症対策）
12月	5日：散髪奉仕 12日：木彫展 21日：音楽発表会 23日：二学期終業式 25日：クリスマス礼拝・晩餐会 28日～1月10日：冬季一時帰省
1月	13日：三学期始業式 30～2月2日：スキー学習
2月	3日スキー大会（大回転） 7日：スキー大会（滑降） 9日：スキー大会（回転） 15日：雪像コンクール 26日：XC スキー大会 27日：散髪奉仕
3月	21日：卒業証書授与式 24日：修了式
毎月	平和山記念碑参拝登山 誕生会 朗読会 日曜礼拝（毎週）

7 会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

- (1) 職員会議 … 毎週1回定例開催（原則水曜日午前）
- (2) 成績査定会議 … 成績を査定し、三賞（努力賞・作業賞・学業賞）を決定
7月20日 12月14日 3月15日
- (3) 作業班編成会議 … 4月6日 8月16日 1月11日
- (4) 給食運営会議 … 毎月1回定例開催

8 関係機関との連携・打合せ

(1) 児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送等での児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。また、運動会、作業班学習発表会、卒業証書授与式の際には各児童相談所に案内をしました。

(2) 関係機関との連携

卒業証書授与式には原籍校の校長などの出席を依頼し、児童に直接卒業証書を手渡ししてもらいました。

9 児童自立支援計画票の作成

新入生は3か月以内に、3か月以上経過した児童は年2回（5月と11月）に児童自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

IV 職員研修等について

職員の資質の向上を図るために、職場内研修に努めるとともに、外部の研修会にも派遣しました。ただし、コロナ禍の影響により外部研修が大幅に縮減されています。

自立支援部

<職場内研修・伝達研修>

- ・軽部理事による研修 5月29日：全職員
- ・厨房等衛生管理研修 8月31日：給食棟担当職員
- ・水上理事による研修 10月19日：全職員
- ・熊事故回避講習会 6月28日：全職員

<外部研修>

- ・刈払機安全教育 5月12日：西村
- ・酪農フィールド研修 9月9日：小長谷
- ・HACCP 講習会 11月9日：菱本
- ・社会福祉法人会計研修会 12月2日：樺山

V 生産活動について

1 山林経営管理

令和4年度は森林管理計画（5年）の5年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に材木の育成の促進のための事業を実施しました。家庭学校の所有のする山林は、遠軽町から湧別町にかけて約400haで、樹種は、天然林が42%、カラマツが32%、トドマツが23%、他にグイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストローブが植えられています。

(1) 林班別の面積・樹種

① 遠軽町

- | | | |
|------|-------|-----------------------------------|
| 71林班 | 88ha | 天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ |
| 72林班 | 8ha | カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ |
| 73林班 | 3ha | カラマツ、天然林広葉樹 |
| 74林班 | 128ha | 天然林広葉樹（78ha）、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ |
| 75林班 | 82ha | 天然林広葉樹（43ha）、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ |

- 7 6 林班 4 6 ha 天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストローブ
- ② 湧別町
- 1 8 林班 2 1 ha カラマツ、グイマツ
- 1 9 林班 2 3 ha トドマツ、カラマツ

(2) 山林事業の実施状況

(円)

事業名	林班	樹種	事業面積ha	事業費	補助金	自己資金
造 林	18-1	カラマツ	3.83	2,360,930	2,349,073	11,857
下草刈り	71-8 外	カラマツ	7.75	667,370	577,197	90,173
間 伐			0	0	0	0
				材売上げ		0
野ねずみ駆除	71-4 外	カラマツ	55.76	238,419	193,782	44,637
皆 伐	71-14	カラマツ	4.00	材売上げ		3,960,000

	令和4年度合計	(令和3年度の状況)
収入 補助金	3,120,052円	(4,398,494円)
材売上げ	3,960,000円	(5,055,966円)
収入計	7,080,052円	(9,454,460円)
支出 事業費	3,266,719円	(4,895,364円)
総収支(収入計-事業費)	3,813,333円	(4,559,096円)

山林事業の状況は、前年度に比較すると事業規模が縮小しているかのように見えますが、予定していた間伐事業が次年度繰越しとなったため通常年度より全体の金額が小さくなったということもあり、その分を差し引くとほぼ通常年度の収支でした。

2 営農経営管理

令和4年度の酪農事業は、頭数の若干の増頭により出荷乳量が増加しました。牧草収穫については、刈り取り機（モアーコンディショナー）の不調のため、中古機械への入れ替えや一時的に不安定な天候により、一番牧草の収穫では刈り取り時期が長くなったものの、比較的乾燥品質の良い牧草が収穫できました。

バター・チーズ工房の乳製品については、前年度までの遠軽町のふるさと納税の返礼品、道の駅「遠軽 森のオホーツク」での取り扱い、ネット通販に加え、めまんべつ道の駅と空港の販売所と北見イオンで常時販売を開始しました。10月15・16日に東京で行われたジャパンチーズアワードに出品し、「家庭学校の薪」が金賞、「トメオカ」が銅賞を受賞しました。

(1) 牧草収穫量 (令和4年度)

圃場	一番牧草				二番牧草			
	面積 (ha)	刈取り日	収納日	収 量	面積 (ha)	刈取り日	収納日	収 量
向陽寮裏	0.64	6/25	6/26	ロール7本	0.64	9/2	9/5	ロール2.5本
給食棟・楽山寮横	0.9	7/6	7/9	ロール16本	0.9	9/2	9/5	ロール7本
洗心寮前	0.34	6/25	6/26	ロール4本	0.34	9/2	9/5	ロール1.5本
川口畑 (小)	0.61	7/12	7/15	ロール13本	0.61	—	—	—
礼拝堂裏	0.7	7/6	7/9	ロール16本	0.7	9/7	9/11	ロール8.5本
川口畑 (大)	1.37	8/18	8/22	ロール41本	1.37	—	—	—
川口畑 (奥)	0.61	8/22	8/25	ロール20本	0.61	—	—	—
四町畑	4.52	7/27 8/3 8/11	7/30 8/6 8/13	ロール78本	4.52	9/26	9/30	ロール33.5本
掬泉寮裏	0.52	7/12	7/15	ロール11本	0.52	9/7	9/10	ロール4.5本
川口畑 (手前)	1.5	7/16	7/18	ロール30本	1.5	—	—	—
合 計	11.71			ロール236本	9.21			ロール31本
4年度	ロール合計 267 本							
3年度	ロール合計 332 本							

(2) 飼養頭数

年齢	経産牛								育成牛			総計
	7-10	6	5	4	3	2	1	小計	1	0	小計	
4年3月	4(1)	0	4(1)	4(1)	6(1)	5(1)	1	24(5)	7(3)	7(3)	14(6)	38(10)
5年3月	2(1)	4(1)	4(1)	5(1)	4(1)	3	0	22(5)	6(3)	7(2)	13(5)	35(10)

() 内はジャージーの頭数で、内数

(3) 分娩件数、生乳販売等実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
分娩件数	23 件	21 件	20 件
生産乳量	153. 2t	132. 8t	134. 9t
生乳販売金額	11, 856, 900円	10, 038, 841円	10, 616, 027円
個体販売頭数	22 頭	14 頭	10 頭
個体販売金額	2, 452, 435円	2, 110, 466円	1, 402, 998円
バター生産量	81. 3kg	83. 2kg	57. 4kg
バター生産個数	665 個	665 個	459 個
チーズ生産量	331. 3kg	370kg	373. 6kg
バター・チーズ 販売金額	2, 746, 759円	2, 864, 907円	1, 737, 513円

VI 実習生・研修生の受入れ状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数				2	4	1							7
人数				2	4	1							7

【概況3】 自立援助ホーム「がんばろうホーム」

I 総括

令和4年度も前年度までと同様に常勤職員3名、非常勤職員2名の体制で運営しました。入居者数は年度当初2名でした。年度中に入居者4名、退居者3名あり、年度末の入居者数は3名となりました（定員6名）。また、北見児童相談所から一時保護委託を2名受け入れました。

退居者については、家庭の支援を受けながら自立を目指す者が1名、就職自立退居者が2名でした。入居者が少なく、経営的に不安がありましたが、暫定定員の設定時期に至っていないことから措置費（事務管理費）が定員6名分の支給となり、収支は満たされたものとなりました。入居者に対しては、就労支援として就労先探しや就業が継続できるように支援を行いました。修学については、通信制高校2年生に在学中の者は自立と同時に転校し、3年生に進級する見込みです。また、紋別高等養護学校2年生に在籍する者1名、家庭学校から中卒者1名を受け入れました。就労については、主にハローワークを通じて情報を得、就労先は町内外企業の協力により、飲食店、観光協会となっています。

入居者への対応については、職員が生活状況の変化に留意しながら面談を中心に行うとともに、樹下庵診療所受診、家庭学校心理士の面接、さらには措置児童相談所との連携を図りながら対応しました。

Ⅱ 職員について

支援職員 5 名

職 名	氏 名	職務内容・事務分掌
ホーム長	清水真人	常勤 総括
児童生活支援員	清水律子	常勤
児童自立支援専門員	伊東睦子	常勤
児童自立支援専門員	木元 勤	非常勤 宿直対応
嘱託職員	加茂文明	非常勤 日直対応

Ⅲ 現況について

1 入居者の状況

- ・措置児童相談所 旭川、北見、岩見沢、帯広
- ・就学状況 有朋高校 2 年（通信）1 名、紋別高等養護学校 2 年 1 名、
遠軽高校定時制入学予定 1 名
- ・就職状況 歌屋、味の時計台、道の駅遠軽、遠軽コスモス園
- ・受入前在籍 家庭 4 名、里親 1 名、家庭学校中卒 1 名

2 退居の状況

家庭支援による自立 1 名（京都市） 就職自立 2 名（遠軽町、習志野市）

3 入居者の現況

① 定員・在籍数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

定員	在籍数	入所率
6	3	50%

② 措置児童相談所

中央	旭川	函館	帯広	釧路	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	合計
	2		1		2	1			6
	33%		17%		33%	17%			100%

③ 月別在籍人員推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初日	2	3	3	3(1)	4	3	3	3	1	1	2	2	30(1)
受入	1		(2)	1						1		1	4(2)
退居			(1)	(1)	1			2					3(2)
月末	3	3	3(1)	4	3	3	3	1	1	2	2	3	31(1)

（ ）は一時保護委託

④ 初日年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15歳		1	1	1	1	1	1	1	1	1		
16歳											2	1
17歳	1	1	1	1	1	1	1	1				1
18歳												
19歳	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
計	2	3	3	3	3	3	3	3	1	1	2	2

⑤ 在籍期間

～3か月	～6ヶ月	～1年	～1年半	～2年	2年～	計
1				1	1	3
33%				33%	33%	100%

4 会議の開催状況

毎週始めに、常勤職員による内部打合せを行いました。年3回職員全員による内部会議を開催しました。

5 自立生活援助計画の作成

5月、11月には、入居者の自立生活援助計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

6 職員研修

- ・全国ホーム長研修会 9月8日 リモート開催 清水真人出席
- ・全国自立援助ホーム協議会大会 10月16日 リモート開催 清水真人出席
- ・オホーツク養護児童対策協議会研修 10月16日 端野 伊東睦子出席
- ・自立援助ホーム北海道ブロック研修 7月12日 12月7日 札幌 清水真人出席